

周北小だより

令和6年3月 第292号
岩国市周東町瀬越2161番地
TEL (0827)86-0212

mail shuhoku-e@edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp HP <http://www.edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp/site/shuhoku-e/>

<学校教育目標> (小中一貫教育目標)

ふるさとを愛し 心豊かに たくましく生き抜く 児童生徒の育成

<めざす児童像>

- し しっかり考え、決めたらやる子
- ゆ たかな心で、思いやりのある子
- う んとがんばる、たくましい子
- ほ がらかで、仲良く助け合う子
- く るしさに負けない、がまん強い子

<チャレンジ目標>

聞き方の達人になろう!

- ・手を置いて、体と目を向けて
- ・うなずきながら最後まで

チャイムの合図で活動を始めよう!

- ・チャイム前着席、取りかかり



気がつけばもう3月、玄関の横の梅のつぼみも少しずつほころび始めました。学校では一年間のまとめの月となります。

保護者の皆様、地域の皆様にはこの一年間、様々な場面でお世話になりました。学級減に伴い職員の人数も減り、教育活動や環境整備など、行き届かないことが多かったことと思いますが、温かく、しっかりと支えていただき、こうしてなんとかやってこれたことに感謝申し上げます。

2学期末にご協力いただいた後期学校評価アンケートでは、子ども達の言葉遣いや地域とのつながりの希薄化、学習や生活指導の徹底について心配されるご意見とともに、学校や子ども達に向けて激励の言葉もたくさんいただきました。その中の一つをここに紹介させていただきます。

「川越文化祭での児童の発表はとても立派なものだったと思いました。川越内三校の小学校のくわしい成り立ちもよく調べて発表され、三瀬川小学校卒業生としては、うれしきと、なつかしきとで胸が熱くなりました。防災学習は身近な問題で、災害以降続けてこられた学習のまとめの時期と感じました。過疎と高齢化が進む地域の中でよりよい生活を送れるように仲間作りの良いアイデアをいただいた気がしています。」

こうしたご意見を届けていただくことは、子ども達にとっても職員にとっても励みになり、日頃の取組を振り返る機会になります。学校だよりやHPなど、一方的にお伝えするばかりでなく、皆様のお声を聞かせていただく機会をもっと増やしていきたいと考えているところで

校長 村田 泰伸



3月の主な行事予定

1日(金) ALT	18日(月) 卒業式準備 6年給食終了
2日(土) 周東子ども弁論大会(総合支所)	19日(火) 卒業証書授与式
4日(月) 6年生を送る会	20日(水) 春分の日
5日(火) 自動車図書館	22日(金) 給食終了
6日(水) 特別時程 委員会活動	25日(月) 通常時程3校時
8日(金) ALT	26日(火) 修了式
14日(木) ALT	28日(木) 離任式

3校合同なわとび交流会

2月16日(金)に、3校合同なわとび交流会を実施しました。川上小学校の体育館で、「前跳び」「二重跳び」「持久跳び」や、長縄に挑戦しました。他校の友達と一緒に競技したり、交流したりすることで、楽しく充実した時間を過ごすことができました。大会に向けての練習や本番を通じて、自分が跳べなかった種目が跳べるようになったり、自己ベストを更新したりと、子ども達の成長を感じることができました。



二分の一成人式

2月14日(水)に、二分の一成人式を多目的ホールで行いました。今年度は3年生も一緒にお祝いをしました。「ぼくの歴史」「将来の夢」「ぼくの一歩」の発表後、おうちの方との手紙交換を行い、最後は全校児童が1つになって、周北ソーランを披露し、成長を祝いました。

参観日と兼ねて実施しましたので、全校児童、保護者、地域の方々と、たくさんの方にお祝いしていただくことができ、大変心温まる式となりました。お越しいただいた、保護者、地域の皆様、ありがとうございました。



宇佐川小と交流

2学期から、宇佐川小の5・6年生とリモートで交流を行っています。

双方が忙しく、なかなか2回目ができなかったのですが、2月の6日・27日に会をもつことができました。

各校の行事紹介やクイズなど、自分で作成した物をタブレットで発表し合いました。宇佐川小は、本校のぶどうの袋かけ・収穫活動に驚いていました。ともにオオサンショウウオが生息する、自然あふれる学校です。



川越子ども弁論大会

2月17日(土)、川越子ども弁論大会が行われました。欠席者があり、残念ながら3人での参加となりましたが、保護者の方や地域の皆さんの温かい眼差しに見守られ、自分の周りの人たちや学校のこと、自分のこれからのことなど、自分のテーマについて堂々と発表しました。発表している姿はとても頼もしく思えました。

審査結果が出るまでの待ち時間には、聞きに来てくださった方々と一緒にフラワーアレンジメントを楽しみました。

地域の方々とふれあい、子どもたちのがんばる様子を見ていただくよい機会となりました。



最優秀、優秀の2人は、3月2日(土)の周東子ども弁論大会に参加します。